

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	坂田 温
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	-	<b>内線</b>	245-1770
<b>事務事業名</b>	4233 臥竜公園管理事業						
<b>所 属</b>	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
<b>施 策</b>	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費					
	<b>事業</b>	020000 臥竜公園管理事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
臥竜公園の維持管理と整備				市民の憩いの場としての都市公園整備を充実する。動物園と一体となった観光拠点としての誘客が図れる。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>
平成31年度 予定	平成32年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定)</li> <li>・臥竜公園施設改築や緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000
	実績	136,576	142,755		
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないのので動物園の来園者を指標にする。				
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		27,984	32,799
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,667	2,458
一般財源		22,317	30,341
人員数(人)	正規職員	1.5	1.5
	嘱託職員	2.9	3.8
	臨時職員	0.9	0.0
人員コスト	正規職員	10,723.5	10,723.5
	嘱託職員	8,021.4	10,510.8
	臨時職員	1,061.1	0.0
	計	19,806.0	21,234.3
市民一人当たりの経費		0.9	1.0
総額		47,790.0	54,033.3

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,738	消耗品費1399、燃料費349、食糧費10、印刷製本費96、光熱水費1746、修繕料1136
13節 委託費	8,821	保守点検委託料153、シルバー人材センター委託料147、その他委託料8519
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2	出席負担金
その他	14,423	嘱託・臨時職員人件費12,408、役務費226、使用料及び賃借料1487、原材料費299

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,144	消耗品費1330、燃料費367、食糧費15、印刷製本費380、光熱水費1920、修繕料1132
13節 委託費	10,049	保守点検委託料154、シルバー人材センター委託料180、その他委託料9715
15節 工事請負費	2,800	遊路塗装工事
19節 負担金補助及び交付金	2	出席負担金
その他	14,804	嘱託・臨時職員人件費12,408、旅費29、役務費526、使用料及び賃借料1,500、原材料費300、公課費14

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民の憩いの場であり、県内はもとより国内外からも多くの観光客が訪れる公園として、竜ヶ池周辺の桜や臥竜山の松の古木化、竜ヶ池の水質改善等、維持管理は重要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	成果はすぐに現れるものではないが、課題の早期解決に努めている。竜ヶ池の水質は前年度に比較して改善方向にある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	竜ヶ池周遊路のぬかるみ対策や竜ヶ池の浚渫、臥竜公園施設整備等を検討するには、事業規模から考えて補助事業等財源確保を要する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- ・臥竜公園の市民の憩いの場としての魅力ある環境整備が必要。
- ・樹木の整枝、剪定、伐採等はお客様の安全確保のために早期対応に努めた。
- ・竜ヶ池の水の一部入替は、費用をかけずに行える有効な手段であり、毎年継続していきたい。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
市内外から多くの人々が訪れる施設であり、安全を第一に考えた施設管理が必要。		臥竜公園は、市民の憩いの場として親しまれ、また、市外からも多くの人たちが訪れているため、安全を第一に施設管理を適切にしていく。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	